

二〇二二年一〇月一日(参加者二〇名)

早暁やダイヤ光に草の露
千枚の刈田にひびく水の音
露けしや主亡くせし三つ揃
登校の子らが横切る刈田かな
庭草の朝日に光る露の玉
雑草の纏ふ朝露エメラルド
焼き跡のまあるく残る刈田かな
芋の葉の朝露七転して遊ぶ
畦散歩先ゆく犬が露払ひ
刈田道里の山々近くなり
草露に靴びしよ濡れや登校子
露けしや熊野古道の童子像
刈田道右手に左手に藁匂ふ

明日香
なつき
うつぎ
よし子
満天
ぼんこ
やよい
満天
よう子
かかし
素秀
もとこ
隆松

露の世の土に埋もれし力石
露の身を相勞りて恙無く
わんぱくの戦場となる刈田かな
朝市の陳列台に露残る
稲の香の仄かに残る刈田風
縄跳びのジャンプに光る草の露
千枚の幾何学模様なす刈田
まほろばの里に展けし刈田かな
露けしやカナダと記す移民の碑
夕暮れの刈田に猫の影法師
芋の葉に笑ひころげし露の玉
牧牛の睫毛を濡らす露雫

小袖
わかば
もとこ
宏虎
せいじ
たか子
ぼんこ
明日香
うつぎ
豊実
よし子
智恵子

WEB句会みのる選・二〇二二年一〇月一日